

みずほCustomer Desk Report 2022/08/09号 (As of 2022/08/08)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	135.43
TKY 9:00AM	135.08	1.0173	137.47	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	135.58	1.0222	137.89	1.2055	0.6904
SYD-NY Low	134.36	1.0160	137.08	1.2137	0.7002
NY 5:00 PM	135.01	1.0194	137.69	1.2050	0.6899
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,832.54	29.07	日本2年債	▲0.1000%	0.0000%
NASDAQ	12,644.46	▲13.10	日本10年債	0.1700%	0.0100%
S&P	4,140.06	▲5.13	米国2年債	3.2074%	▲0.0204%
日経平均	28,249.24	73.37	米国5年債	2.9053%	▲0.0511%
TOPIX	1,951.41	4.24	米国10年債	2.7490%	▲0.0769%
ソコ日経先物	28,140.00	▲10.00	独10年債	0.8940%	▲0.0650%
ロンドンFT	7,482.37	42.63	英10年債	1.9490%	▲0.1005%
DAX	13,687.69	113.76	豪10年債	3.2390%	0.1230%
ハンセン指数	20,045.77	▲156.17	USDJPY 1M Vol	10.88%	▲0.06%
上海総合	3,236.93	9.91	USDJPY 3M Vol	10.77%	▲0.02%
NY金	1,788.96	13.46	USDJPY 6M Vol	10.32%	▲0.02%
WTI	90.76	1.75	USDJPY 1M 25RR	▲0.35%	Yen Call Over
CRB指数	281.80	0.76	EURJPY 3M Vol	11.83%	▲0.21%
ドルインデックス	106.44	▲0.19	EURJPY 6M Vol	11.59%	▲0.17%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
-	-	-	-	-

【本日の予定】

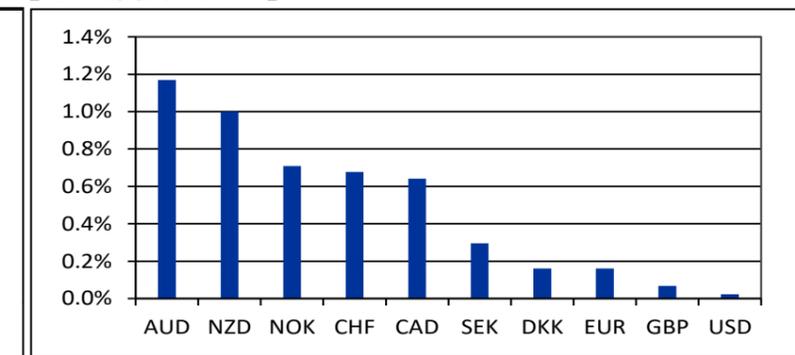
Date	Time	Event	予想	前回
-	-	-	-	-

東京	東京時間のドル円は135.08レベルでオープン。オープン直後につけた135.05を底値に、先週末の米7月雇用統計の強い結果を受けた流れのまま、一時135.58まで上昇。その後買いが一服すると、お盆休暇前であることや10日に米CPIを控えていることもあってか、135円台前半で方向感を欠く値動きとなり135.45レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は135.44レベルでオープン。特段の材料ない中、米長期金利の低下を眺めて下落し、134.82レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	先週末発表された米7月雇用統計が予想以上に良好な結果だった中、海外市場のドル円は135円台前半での底堅い推移でスタート。東京仲値にかけては金曜日の高値(135.52)を上抜け135.58をつけるが、今週半ばに米7月CPIの発表を控えている中、様子見ムードも強く、その後は伸び悩む。欧州時間では米朝金利の低下が重しとなり、ドル円も135円を割り込み、134.78レベルでNYオープン。本日は主要な経済指標発表が予定されていない中、朝方は買い優勢となり134.99まで上昇するも、135円台回復には至らず、米長期金利の低下と米株先物の上げ幅縮小が売りを誘い134.36まで下落。午後は売りが一巡し、買い戻し優勢となりじりじりと上昇。終盤には135.11までNY時間高値を更新後、135.01レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.01台後半でスタート。対円のドル買いが波及し、東京時間に1.0160まで下落するが、その後、米金利低下・欧州株上昇を受けて1.02レベルを回復し、1.0202レベルでNYオープン。米金利低下でドル売りが進む中、1.0222まで上昇するが、ユーロ圏の景気減速懸念が根強く、ユーロ買いに対して慎重な見方も多い中、更なる上値追いは限定的だった。午後はじりじりと上げ幅を縮小し、結局、1.0194レベルでクローズ。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	134.40-135.80	1.0160-1.0220	137.00-138.30

【マーケット・インプレッション】

昨日週明けのドル円は135円を挟んで方向感に乏しい内容。先週末の米雇用統計の堅調な結果を受けてFRBの大幅利上げを織り込む動きにドル円は買いが先行し、東京時間早々に135.58と先週高値を上抜け。しかし、買い一巡後は主だった経済指標もない中で総じて動意に欠け、じり安推移の末一時135円割れ。NY時間には週央の米7月CPIを控えたポジション調整等から米金利が小幅低下し米株も上げ幅を縮小する動きにドル円は134.36まで下落する場面があったものの引けにかけては買い戻され結局135円台に戻り135.01レベルでNYを引けている。本日ドル円については底堅い推移を予想。先週末のドル円急上昇を受けて昨日は調整売りが入ったものの下値押し目の意欲も相応に感じられ、足元9月75bpの大幅利上げを織り込む向きも依然根強い。明日の米7月CPI発表を控えた様子見ムードの中、ドル円は小確りとした展開が想定されよう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上遠野・逸見